

**International Conflict & Environment Negotiation Network**  
 ( 国際交渉・環境ネットワーク )  
**ICENET**  
 あいすねっと

## 1、設立趣旨

敗戦から復興した日本経済は、80' 年代にも高い成長率を示した。特にこの間、他国通貨に対する円の上昇が大きかったため、日本の国際的存在感は、極めて大きなものとなった。90' 年代に入り、ソ連の崩壊が起こったことによって、日本経済は、既に自由主義圏のみならず世界において第二位（アメリカ合衆国の6割）になっていたことが明らかとなった。そして、現在アジア諸国の国民総生産を全て合算しても、日本一国の国民総生産には及ばない。天然資源の少ない日本が、人々の勤勉さ、適切な経済政策、教育や技術への効率的な投資等によって、戦後短期間の内に一大工業貿易国となったのである。

このように世界における日本の存在が大きくなると、自由世界を代表してきた合衆国の軍事力の下で、平和にただ乗りすることは許されにくい状況となってきている。その最も端的な例は、91' 年イラク軍がクウェートに侵攻した際、合衆国に率いられた連合軍の活動展開のために日本が1兆3千億円を支払ったことである。この1兆3千億円と言う額は、日本国民一人当たり1万円であり、また、日本が90' 年代に入り世界最大の供与国となったODA（開発途上国への政府開発援助）の年間総額に匹敵する巨額なものである。

しかし、この事実に対し、多くの日本人にはどこか未だ釈然としないものが残っているのではないだろうか。なぜなら、この時の日本の資金供与により、イラク軍に対し激しい空爆が行われ、何万人ものイラク軍兵士が、傷つき、命を落とすことになったからである。日本人が、これまでに築き上げたその経済力で、未だ貧しく、ある一つの体制の中に組み込まれているに過ぎない多くの若者兵士を、間接的とは言え、殺りくすることに荷担することになったからであろう。

戦争は、今も世界の各地で起りつつある。過去10年間、千人以上の死者を出した大規模の戦争や衝突は、世界全体で毎年平均35から40の頻度で起こっている。そして、世界には、新たに少なくとも70の戦争が起こる可能性があると言われている。

### (注1)

一方、日本政府は、国連安全保障理事会の常任理事国入りを目指していると伝えられている。戦後日本の発展、特にアジア地域に於ける経済技術面での貢献、国連への資金供与、世界経済への影響の大きさを考える時、日本が常任理事国となったとしても何ら不思議とは思われない。しかし、日本が、そうなったとすれば、今後益々、国際貢献の名の元に、武力行使のための、軍事要員および資金援助が要請されることとなろう。（注2）

たとえ、国連等国際政治での合意のもととは言え、他国における紛争を力で抑圧することに日本が加わるとすれば、その紛争に日本も巻き込まれる可能性が大きい。日本政府

の意図にかかわらず、紛争当事者の現地の民族あるいは思想グループは、日本の自衛官を自分達の意図の実現を阻止する敵と見なし、攻撃対象とすることも考えられる。そして、日本の自衛官が自らを守るため、その挑戦を受けざるを得なくなった時、日本の軍事手段による平和協力は、完全、永久に戦争を放棄することを謳った日本国憲法の精神と相容れない部分が出てくる可能性がある。

他のアジア諸国に侵略し、敗戦を迎えた日本、そして唯一の原始爆弾被爆国の国民として、私達はもっと知恵を出すことはできないであろうか。世界をもう一度よく見回し、発想を転換することはできないのだろうか。

世界の様々な平和を目的とした運動を見れば、少なくとも、私達は、軍事手段による人的、資金的援助が唯一、最善、最後の紛争解決の方法と見なす必然性がないことに気付くはずである。

私達日本人にとっての世界平和への貢献は、紛争が悪化し大きな武力衝突が起こる前に、焦点を当てるべきではないだろうか。考えられる限りのあらゆる機会を提供し、海外の紛争調停者や政治家と協力し、地域の当事者と話し合い、共に平和への道を探ることはできないのだろうか。当事者の多くが、話し合いを続けている限りにおいて、大きな紛争が回避される。そして、その手段の行使が、既に人間にとての勝利であると言えば楽観的に過ぎようか。

人間の歴史の中で、武力だけが、利害関係、憎しみの解決法ではなく、話し合いによる衝突回避の方法を共に模索することが重要であろう。なぜなら現代の武力衝突は、あまりに多くの人命の犠牲、環境の破壊、財産上の損失、悲しみ、憎しみを残すことを、この一世纪足らずの間に私達は、経験により理解してきたからである。

幸いにも、合衆国、ヨーロッパ等では、いくつかの市民活動グループや政府系シンクタンク等が、様々な交渉調停活動への支援協力、啓蒙活動を行っている。このような国際交渉ネットワーク (International Negotiation Network)に私達日本人の平和希求の精神を乗せて積極的に働きかけてはどうだろうか。

(注1) Revolving Intra-National Conflicts: A Strengthened Role for Intergovernmental Organizations.

Conference Report Series Volume 5, Number 1

A Consultation of the International Negotiation Network convened February 1993 / The Carter Center of Emory University, Atlanta, Ga.

(注2) 国連カンボジア暫定統治機構 (UNTAC)の代表であった明石康氏が昨年12月旧ユーゴ紛争解決のために国連事務総長特別代表に任命された。明石特別代表は、ニュースウィークとのインタビューで「平和のために汗を流す人の貢献を行う時期に来ている。」また、日本経済新聞とのインタビューでは、旧ユーゴの「クロアチアやマケドニアに軍事要員を派遣してもいいのではないか。」と発言し、日本政府に働きかけている。また、旧ユーゴに派遣された日本の政府調査団も国連防護軍司令官から軍事監視要員の派遣要請を受けている。

## 2、活動の目的

国際平和の実現、地域紛争の解決、地球環境保全への貢献および国内外市民社会の安全および健全性の向上を目指す。

## 3、活動の基本精神

宗教、性別、政党、国籍、民族、文化等に囚われない日本在住市民の活動であり、その活動の有効性は、善意に基づくがゆえに、支えられるものとする。活動の姿勢は、人類の知恵への信頼に基づき、非暴力と人権の擁護を支持し、戦略思考および経済合理性とともに、精神と肉体の健全性に基づく判断を尊重する。

## 4、活動の方法

様々な問題に対し、優先度を付し、限られた人的時間的資源を集中させることで、効果を上げる。国内市民生活の問題については、欧米先進国の問題解決法を学び、国際的ネットワークにより情報交換を維持する。また、問題に関する海外文献の輪読会を行ったり、問題の研究や理解を深めるために適宜在住外国人との意見交換を行う。

- ・ 海外の地域紛争問題の研究
- ・ 国内外の市民活動体、シンクタンクとの情報交換および協力
- ・ 適宜な意見発表
- ・ 調停活動への支援
- ・ 調停活動の実施

## 5、組織

- － 本組織の中核は、国際交渉の専門家 (International Negotiation Experts : INE)である。INEは、原則として10年以上の国際的職務経験があり、海外の政府高官や公社民間等組織代表者と直接国際交渉活動をおこなった経験者である。
- － 本組織活動を行うための方向性は、組織代表を含め INE 3名を含めた計 7 名の委員会 (Executive Committee)により決定する。
- － 本委員会の上に、該当地域、交渉戦略、仲裁方法、問題解決方法等を研究し、提案を行うための学識経験者からなる顧問団 (Advisory Board)を置く。

- 海外の紛争への調停活動は、紛争各々の背景に照らし、世界から最適の調停担当者を専任し、支援する。
- 調停活動期間、調停担当者は、状況分析、交渉方法等において日本政府機関を含めた特別編成の専門家タスクフォースによる支援を受ける。
- 諸々の活動に対する支援母体として、個人および法人の会員を置く。
- 会員は、年会費以外にも、必要に応じ献金活動を展開する。
- 組織は、ニュース・レターの発行や研究会を開催する。

## 6、ネットワーキング

以下の組織等とネットワーキングし、協力関係を維持する。

International Negotiation Network

Foundation for Global Community (California, USA)

Stanford Center for Conflict and Negotiation (California, USA)

Carter Center (Atlanta, USA)

International Alert (London, UK)

Amnesty International (London, UK)

The Society for Intercultural Education, Training and Research. Conflict Resolution  
研究会 (Tokyo, Japan)

以上  
渡辺 穣二  
(ECFA OB, アクロス・コンサルタンツ)